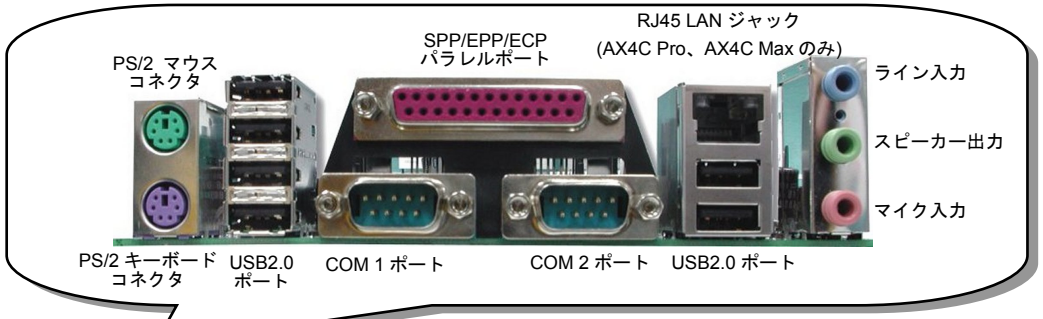
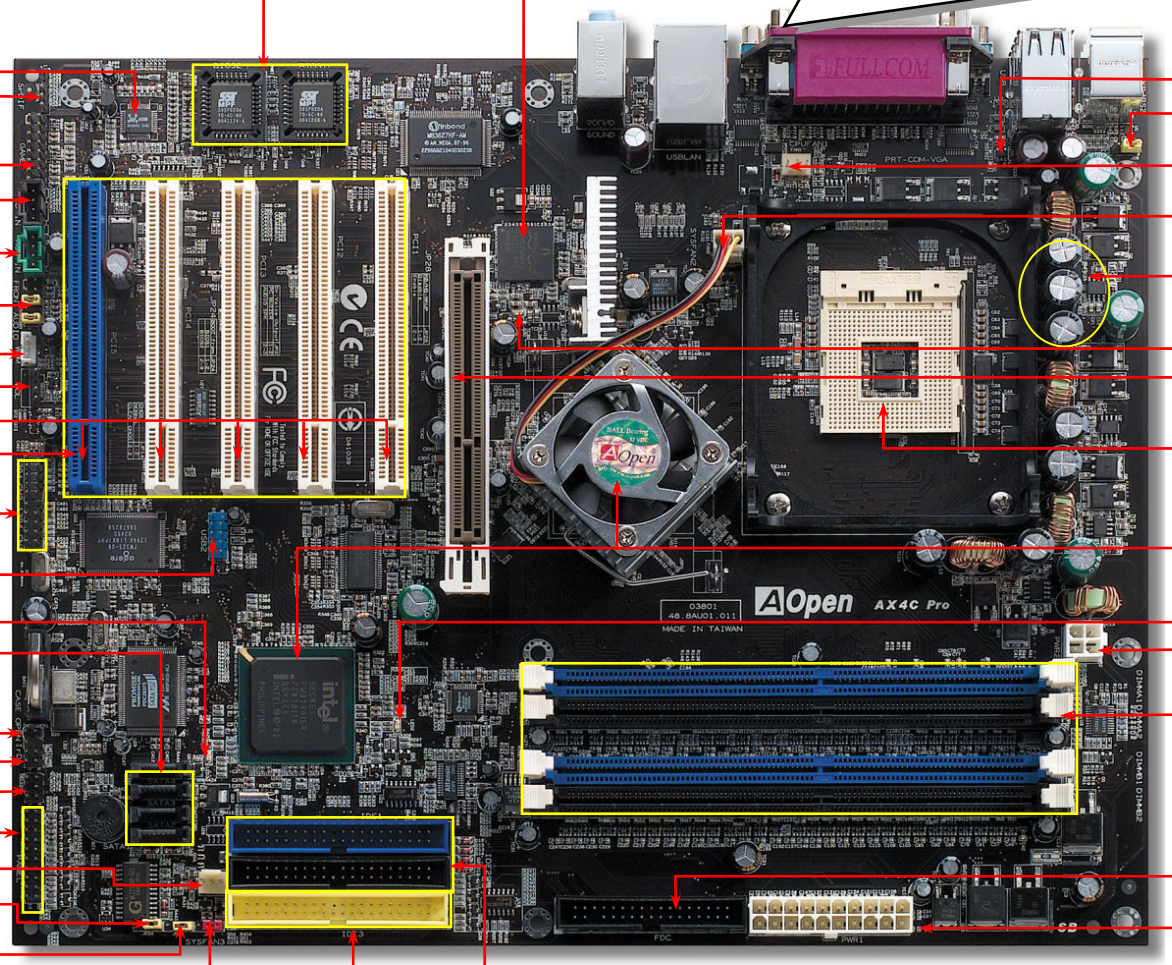
AX4C-G
AX4C Pro
AX4C Max

イージーインストールガイド





Broadcom 10/100Mbps LAN チップ
(AX4C Pro のみ)
Broadcom Gigabit PCI LAN チップ
(AX4C Max のみ)
ダイハード BIOS 1 と BIOS 2
(AX4C-G、AX4C Max のみ)
(AX4C PRO はユーザーアップ
グレードオプション)
オンボード AC'97 CODEC
(AX4C Pro、AX4C Max のみ)
S/PDIF コネクタ
(AX4C Pro、AX4C Max のみ)
ゲームコネクタ
CD 入力コネクタ
(AX4C Pro、AX4C Max のみ)
AUX 入力コネクタ
(AX4C Pro、AX4C Max のみ)
フロントオーディオコネクタ
(AX4C Pro、AX4C Max のみ)
WOL (ウェイクオン LAN) コネクタ
WOM (ウェイクオンモデム) コネクタ
32 ビット PCI 拡張スロット 5 本
(PCI 5: Self-Powered PCI スロット
高電力消費 PCI カードをサポート)
IEEE1394 コネクタ 2 個
(AX4C Max のみ)
第二 USB 2.0 コネクタをサポート
スダンバイ LED（STBY LED）
シリアル ATA ポート 4 個
(AX4C Max は RAID 0、1、0+1 対応)
(AX4C Pro は RAID 0、1 のみ対応)
ケース開放センサーコネクタ
IrDA コネクタ
Dr. LED コネクタ
フロントパネルコネクタ
SYSFAN3 コネクタ
JP24 によるダイハード BIOS
レスキュージャンパー
JP2 による Dr.ボイス出力の設定ジャン
パー(AX4C Pro、AX4C Max のみ)
JP14 による CMOS クリアジャンパー

リセット可能なヒューズ
JP28 によるキーボード/マウスウェイク
アップ機能の設定ジャンパー
CPUFAN1 コネクタ、ハードウェア
モニタ機能付き
SYSFAN2 コネクタ
3300μF 低 ESR コンデンサー
AGP LED
AGP 拡張スロット
(1.5V AGP カード用のみ)
478 ピン CPU ソケット、
電圧及びクロック自動検出機能付き、
Intel® Pentium® 4 CPU 対応
Intel® 875P 及び ICH5 チップセット
ICH5R (AX4C Pro、AX4C Max)
ICH5 (AX4C-G)
起動 LED
4 ピン 12V. ATX 電源コネクタ
184 ピン DIMM ソケット 3 個、
デュアルチャンネル DDR400/DDR333 を
サポート、最大 4GB まで搭載可能
FDD コネクタ
ATX 電源コネクタ
ATA33/66/100 IDE コネクタ 2 個
Promise ATA133 IDE コネクタ 1 個
(AX4C Max のみ)

当イージーインストールガイド中の規格及び情報を変更する権限は AOpen にあります。予告無く変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。

インストールの準備

このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な情報については*オンラインユーザーズマニュアル*か *Bonus Pack CD ディスク*に付属しています。地球保護へのご協力に感謝いたします。

付属品のチェックリスト

- ☑ 当マザーボード 1 枚
- ☑ 当イージーインストールガイド 1 部
- ☑ 図満載のマニュアル 1 部 (AX4C Pro、AX4C Max のみ)
- ☑ EzRestore ガイド 1 部
- ☑ 40 芯線 IDE ケーブル 1 本 (AX4C Pro、AX4C Max のみ)
- ☑ 80 芯線 IDE ケーブル 1 本
- ☑ IEEE1394 ケーブル 1 本 (AX4C Max のみ)
- ☑ 2 個の USB2.0 ポート用ケーブル 1 本 (AX4C Max のみ)
- ☑ S/PDIF ケーブル 1 本 (AX4C Max のみ)
- ☑ フロッピーディスクドライブケーブル 1 本
- ☑ IO シールド 1 枚
- ☑ シリアル ATA ケーブル 1 本 (AX4C-G/AX4C Pro)、2 本 (AX4C Max)
- ☑ シリアル ATA 電源ケーブル 1 本 (AX4C Max のみ)
- ☑ Norton Anti-Virus CD ディスク 1 枚
- ☑ Bonus Pack CD ディスク 1 枚

EzClock WinBIOS WinDMI EzRestore EzWinFlash WatchDOGABS SilentTek JukeBox Vivid BIOS

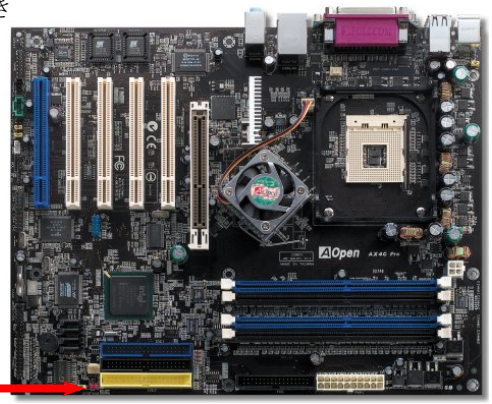
PART NO: 49.8AU01.JE1

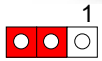
DOC. NO: AX4CMAX-EG-J0312B

1. JP14 による CMOS クリア

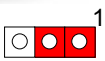
CMOS をクリアする事でシステムの初期値設定に戻ることができます。CMOS のクリア手順は下記の通りです。

1. システムの電源を切り、AC パワーコードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを取り外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差し戻します。





CMOS クリアの場合



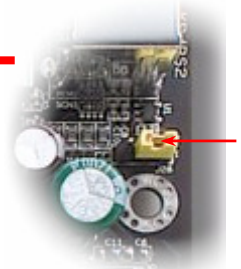
正常動作の場合 (デフォルト)

ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?

1. *オーバークロック時の起動失敗…*
2. *パスワードを忘れた…*
3. *トラブルシューティング…*

2. JP28 キーボード/マウスウェイクアップ機能の設定ジャンパー

当マザーボードにはキーボード/ マウスウェイクアップ機能が備わっています。ジャンパーJP28 により、マザーボードに接続されたキーボードやマウス操作によりシステムがサスペンドモードからリジュームする機能のオン･オフが可能です。工場出荷時のデフォルト設定では “オフ”(1-2)になっており、ジャンパーを 2-3 に設定するとこの機能がオンになります。



1 番ピン

JP28 によるキーボード/ マウスウェイクアップ機能

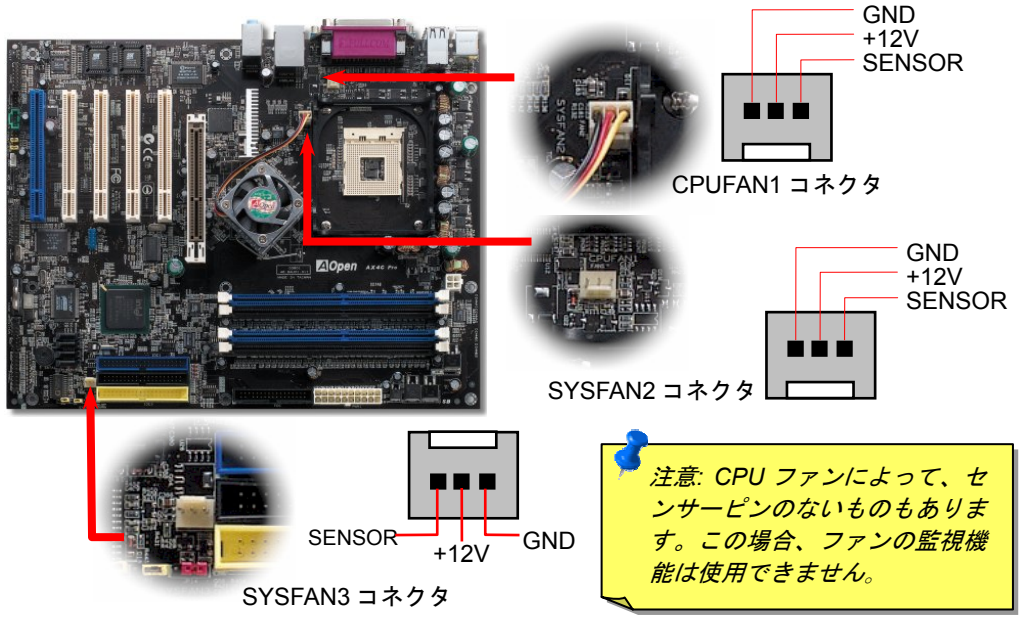
1 番ピン

オフ (デフォルト)

オン

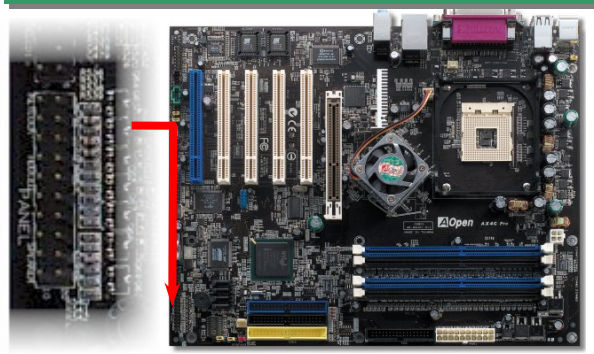
3. CPU 及びケースファンのインストール

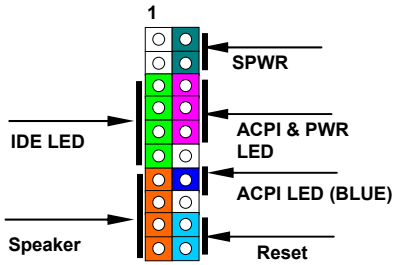
CPU ファンのケーブルを 3 ピンの CPUFAN1 コネクタに差し込みます。ケースファンをご使用の場合に、SYSFAN2 或いは SYSFAN3 コネクタに差し込むことも可能です。



注意: CPU ファンによって、センサーピンのないものもあります。この場合、ファンの監視機能は使用できません。

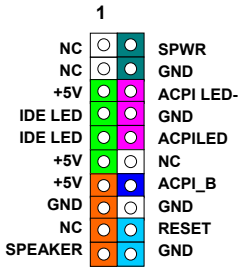
4. フロントパネルケーブルの接続





電源 LED、スピーカー、電源、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差してください。BIOS セットアップで "Suspend Mode" の項目をオンにした場合は、ACPI 及び電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX 筐体における電源スイッチのケーブルを確認してください。これはフロントパネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続してください。



5. CPU 電圧及びクロックの設定

CPU コア電圧の自動検出機能
このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧が 1.1V～1.925V の範囲で自動検出されますので、CPU コア電圧を設定する必要はありません。

CPU クロックの設定
このマザーボードは CPU ジャンパーレス設計ですので、CPU クロックは BIOS セットアップから設定可能で、ジャンパーやスイッチは不要です。

BIOS セットアップ > クロック / 電圧コントロール > CPU スピードセットアップ

コアクロック = CPU FSB クロック* CPU レシオ

CPUレシオ	8x, 9x, 10x… 21x, 22x, 23x…39x
CPU FSB	133～ 200MHz
IMHz単位でのCPUオーバークロック	100～ 400MHz

Northwood CPU	CPUコアクロック	FSBクロック	システムバス	レシオ
Pentium 4 1.6G	1600MHz	133MHz	533MHz	12x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	133MHz	533MHz	13x
Pentium 4 2.26G	2260MHz	133MHz	533MHz	17x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	133MHz	533MHz	18x
Pentium 4 2.53G	2530MHz	133MHz	533MHz	19x
Pentium 4 2.66G	2660MHz	133MHz	533MHz	20x
Pentium 4 2.80G	2800MHz	133MHz	533MHz	21x
Pentium 4 3.0G	3000MHz	200MHz	800MHz	15x
Pentium 4 3.06G	3060MHz	133MHz	533MHz	23x

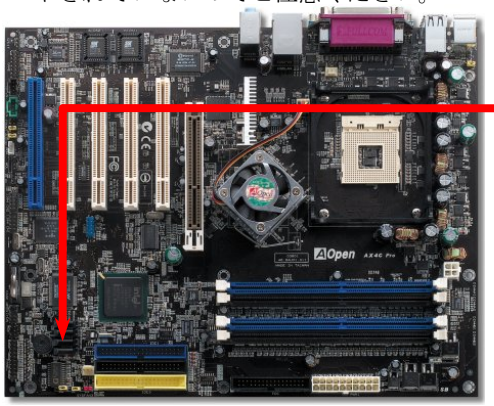
*警告: Intel® 875P (Canterwood) チップセットは,最大 800MHz (200MHz*4) FSB 及び 66MHz AGP クロックをサポートしています。それより高いクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。*

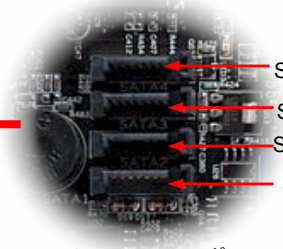
注意 : 最近のプロセッサは自動的にクロックレシオを検出いたしますので、BIOS からクロックレシオを手動調整することはできません。

ヒント : ノースブリッジ「キャンターウッド」は「ターボーモード」をサポートしています。「ターボーモード」は FSB800 及び DDR400 モードの設定においてFSB からシステムメモリへのレテンシーを減らし、システム性能を向上させることができます。

6. シリアル ATA をサポート (AX4C Pro と AX4C Max のみが RAID 機能対応)

当マザーボードにはシリアル ATA コントローラ内蔵のチップが採用され、150Mb/秒に及ぶより高速な伝送レートを提供します。ノースブリッジに統合されたことにより、当マザーボードも RAID 0 機能を搭載しています。AX4C MAX は Promise PDC20378 チップ搭載のため、ATA133 IDE コネクタを通して RAID 0+1 機能もサポートしています。ホットプラグ機能はサポートされていないのでご注意ください。



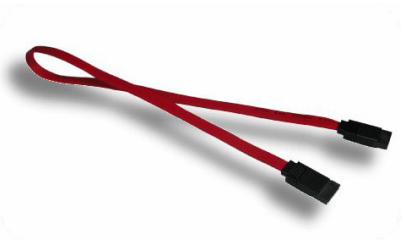


シリアル ATA ポート

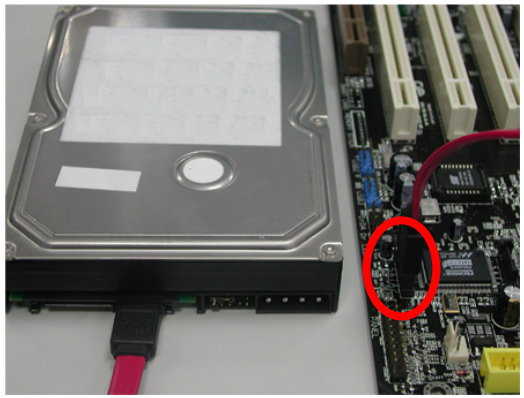
マザーボード	SATA 1 & 2	SATA 3 & 4
AX4C-G	-	-
AX4C Pro	RAID 0	-
AX4C Max	RAID 0	RAID 0, 1, 0+1 (ATA133 より)

7. シリアル ATA ディスクの接続

シリアル ATA ディスクを接続するには 7 ピンシリアル ATA ケーブルが必要です。シリアル ATA ケーブルの両端をマザーボード上のシリアル ATA ヘッダー及びディスクに接続します。他の一般的なディスクと同様に、電源ケーブルの接続も必要です。この接続作業はジャンパーの調整がいらないので、ジャンパーをマスターやスレーブモードに設定する必要はありません。二台のシリアル ATA ディスクを接続する場合に、システムは自動的に“Serial ATA 1” ヘッダーに接続されるディスクをマスターディスクとしてみなします。

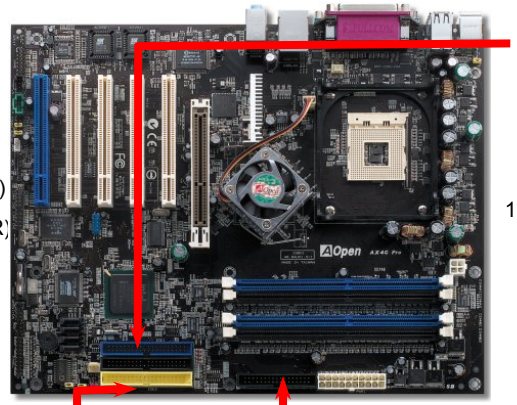


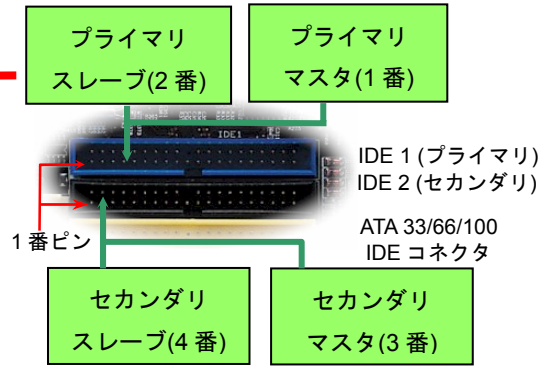
シリアル ATA ケーブル



8. IDE 及びフロッピーケーブルの接続

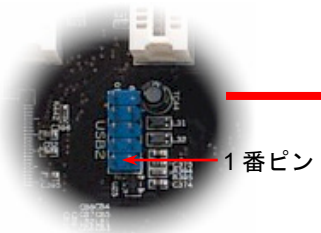
34 ピンフロッピーケーブル及び 40 ピン IDE ケーブルをそれぞれフロッピーコネクタ FDC 及び IDE コネクタに接続してください。1 番ピンの向きにご注意ください。間違えますとシステムに支障を来たす恐れがあります。



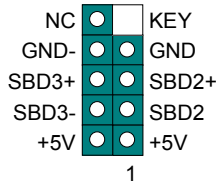


9. 8 個の USB2.0 コネクタをサポート

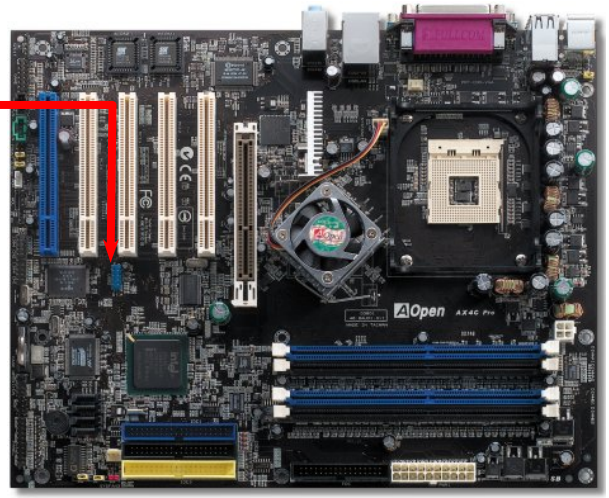
当マザーボードは8個のUSB2.0コネクタを搭載しています。従来のUSB 1.0/1.1規格では最大12Mbpsの転送となりますが、USB 2.0規格の転送速度はその40倍であり、最大480Mbpsの転送レートを実現しています。



USB2 コネクタ

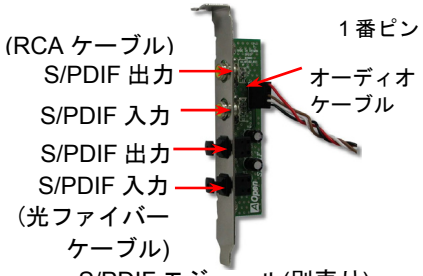


USB2 コネクタ

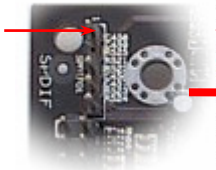


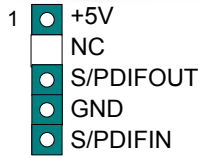
10. S/PDIF (Sony/Philips デジタルインターフェース)コネクタ (AX4C Pro、AX4C Max のみ)

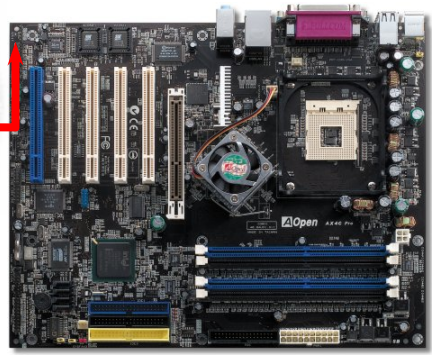
S/PDIF (Sony/Philips デジタルインタフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。専用オーディオケーブルにより、S/PDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。一般的には S/PDIF 出力は 2 つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。出力と同様に、RCA や光学オーディオ製品をモジュールの入力コネクタに接続し、コンピュータから音声や音楽を出すことができます。ただし、S/PDIF デジタル出力の長所を最大限活かすにはモジュールの S/PDIF 出力を S/PDIF デジタル入力/出力対応スピーカー/アンプ/デコーダーに接続する必要があります。



S/PDIF モジュール(別売り)

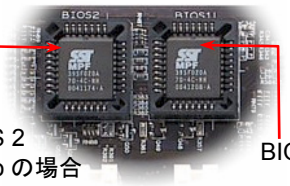


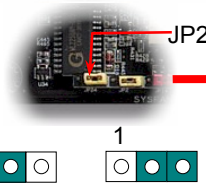




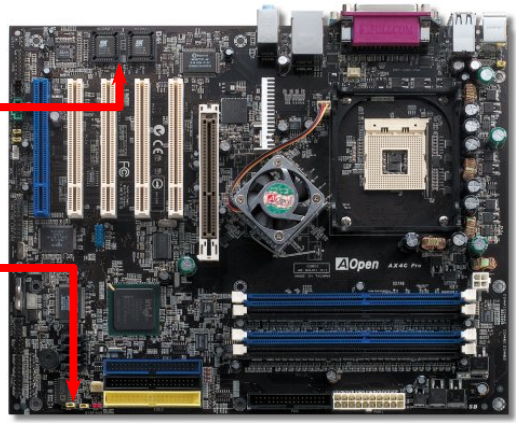
11. ダイハードBIOS II (AX4C-G、AX4C Max) (AX4C Pro はユーザーアップグレードオプション)

最近はBIOS コードおよびデータ領域を破壊するコンピューターウィルスが多く発見されています。当マザーボードには、ソフトウェアや BIOS コードによらないハードウェアによるウィルス防止装置がありますので、ウィルス防止効果は 100%です。正常動作できない場合に、JP24 を 2 番ピンと 3 番ピンに設定して二番目の BIOS ROM でオリジナルの BIOS に回復することができます。



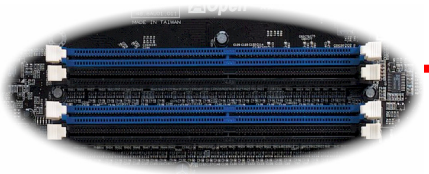


正常動作時 (デフォルト)　レスキュー時

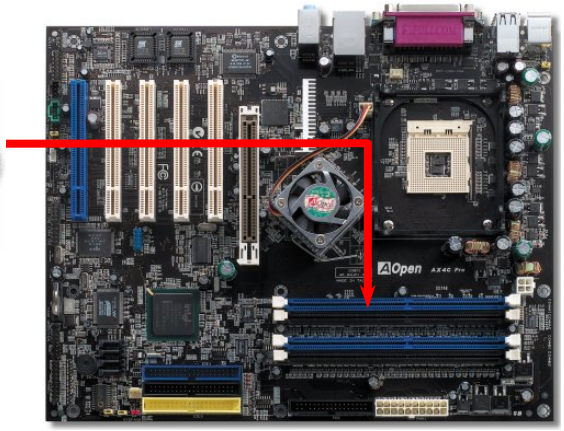


12. メモリモジュール(128 ビット DDR デュアルチャンネル)

いままで、メモリアクセスが 64 ビット幅になったため、メモリモジュールの装着数を増やして容量を増加しても、アクセス速度は一向変わりません。128 ビットデュアルチャンネルの導入により、メモリバンド幅は 128 ビッドモードで 5.4GB まで倍増します。当マザーボードは DDR400/333 対応で最大メモリ容量は 4GB までサポートしています。

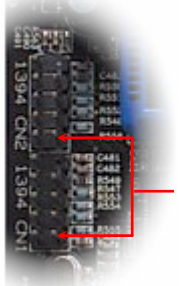


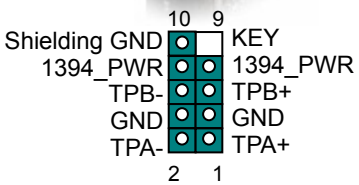
128 ビット DDR デュアルメモリモジュール

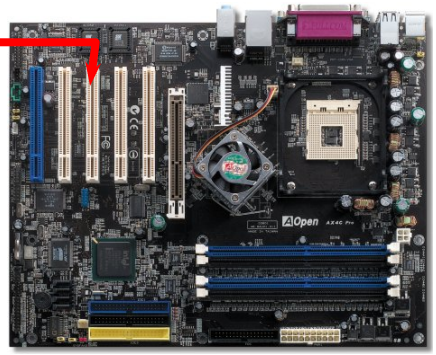


13. IEEE1394 コネクタの接続(AX4C Max のみ)

当マザーボードには AGERE 1394 コントロールチップ(FW323)をオンボードで搭載しています。USB の最大転送速度は 12Mbps だけであるのに対して、IEEE 1394 は 400Mb/s に及ぶデータ転送速度を誇ります。それで、IEEE 1394 インターフェースはデジタルカメラやスキャナおよび IEEE 1394 デバイスなど、高速データ転送が要求される装置を接続するのに最適です。適切なケーブルでデバイスを接続してください。

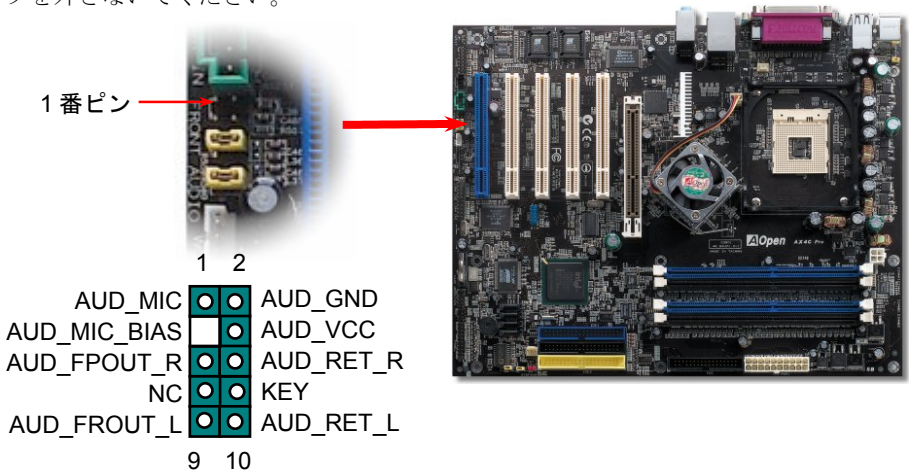






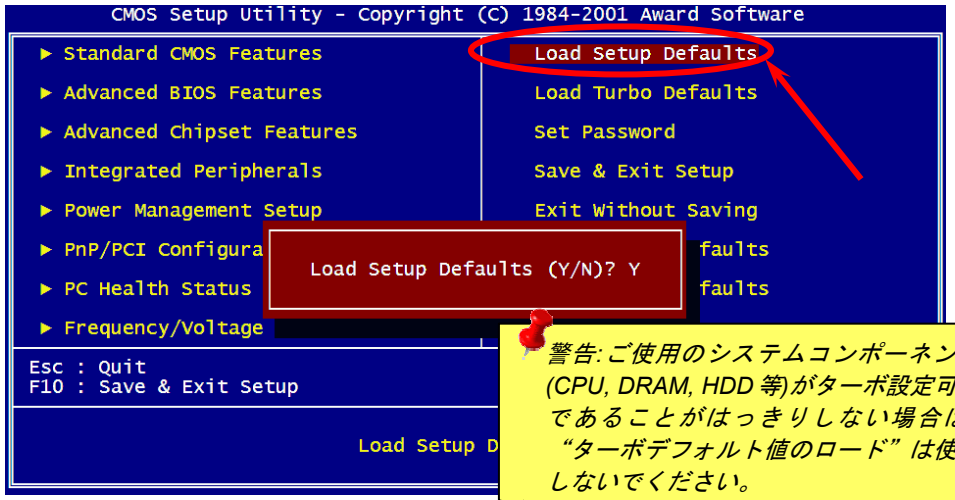
14. フロントオーディオコネクタ

ケースのフロントパネルにオーディオポートが設定されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタから 5、6、9、10 番のジャンパーキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は 5、6、9、10 番の黄色いキャップを外さないでください。



15. 電源投入及びBIOS セットアップのロード

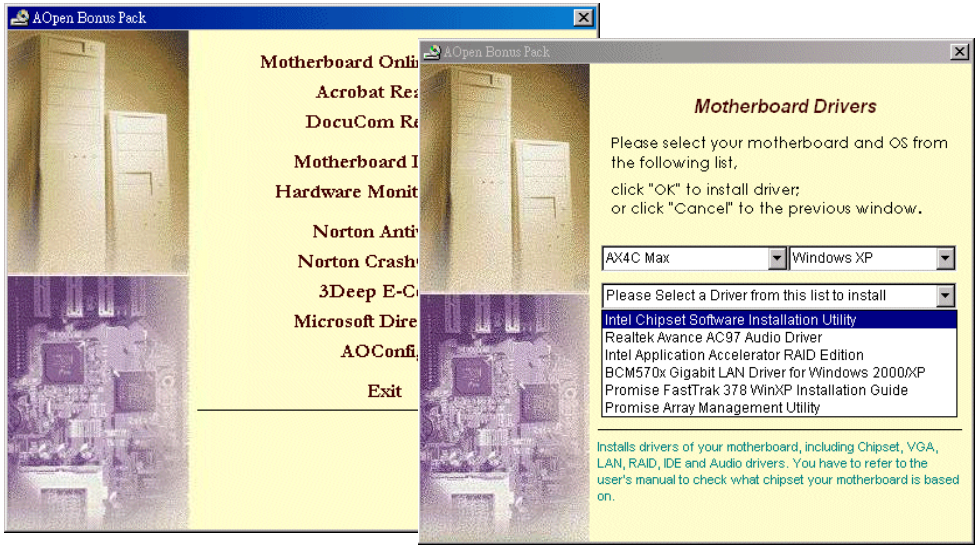
ジャンパー設定およびケーブル接続が正しく行われたら、システムに電源を入れて、POST (電源投入時の自己診断) 実行中に<Del>キーを押すと、BIOS セットアップに入ります。最適なパフォーマンスを実現するには"Load Setup Defaults（デフォルト値のロード）"を選択してください。



警告: ご使用のシステムコンポーネント (CPU, DRAM, HDD 等)がターボ設定可能であることがはっきりしない場合は、"ターボデフォルト値のロード" は使用しないでください。

16. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートラン機能を利用できます。ユーティリティとドライバを指定し、モデル名を選んでください。



NEW! 17. Windows 環境における BIOS のアップグレード

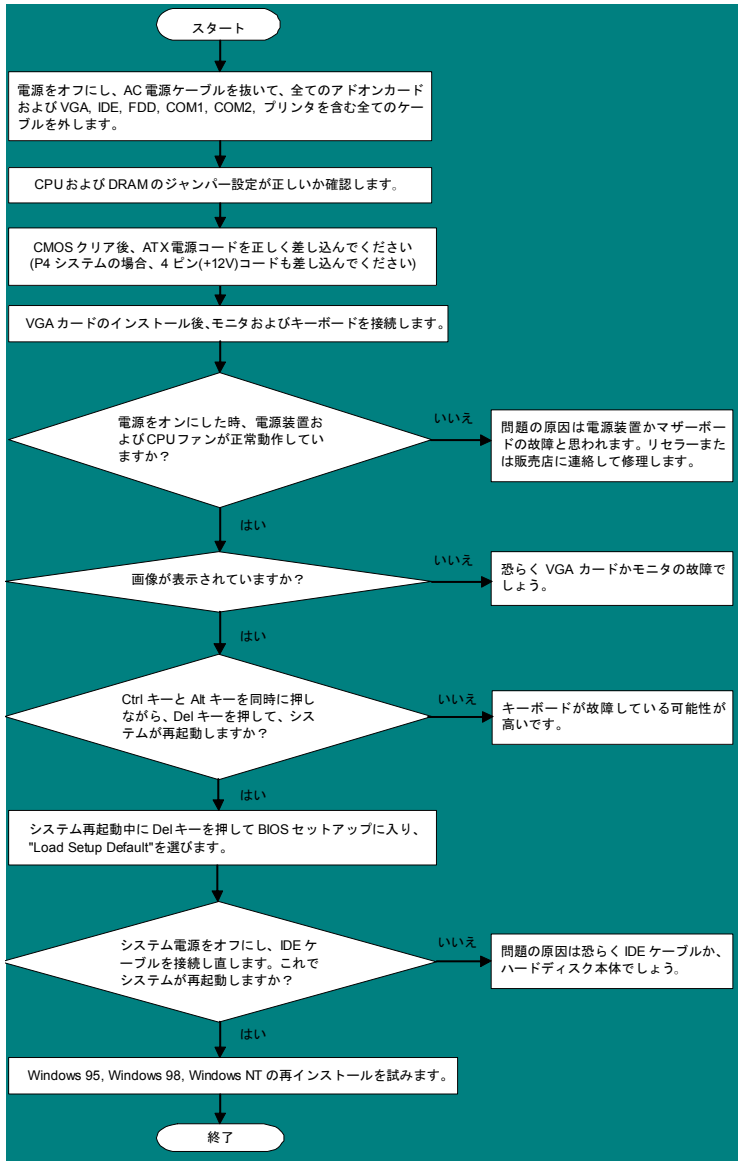
下記の手順に従って、EzWinFlash で BIOS のアップグレードを完了してください。アップグレードを開始する前に、必ず全てのアプリケーションを終了してください。

1. AOpen の公式ウェッブサイト(http://aopen.co.jp/)から最新の BIOS パッケージ zip ファイルをダウンロードします。
2. Windows において、WinZip (http://www.winzip.com)で BIOS パッケージ(例えば、WAX4CMAX102.ZIP)を解凍します。
3. 解凍したファイルをフォルダに保存します。たとえば、WAX4CMAX102.EXE 及び WAX4CMAX102.BIN.です。
4. WAX4CMAX102.EXE をダブルクリックしたら、EzWinFlash はご使用のマザーボードのモデルネーム及び BIOS バージョンを検出します。BIOS が間違ったら、フラッシュ操作を続行することはできません。
5. 主要メニューから言語の指定を行い、「フラッシュ開始」をクリックしたら BIOS アップグレード作業が開始します。
6. EzWinFlash はアップグレード作業を自動的に完了します。完了後、ポップアップダイアログボックスからコンピュータを再起動するよう聞いてきますので、「はい」をクリックして Windows を再起動します。
7. POST 時に<Del>キーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、"Save & Exit Setup（保存して終了）します。これで完了です。

警告 :新しい BIOS のアップグレードにより、フラッシュ後に前の BIOS の内容は完全に置き換えられます。前の BIOS 設定及び Win2000/WinXP プラグアンドプレイ情報は更新されますので、システムを再構築する必要があります。

トラブルシューティング

システム起動時に何らかの問題が生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



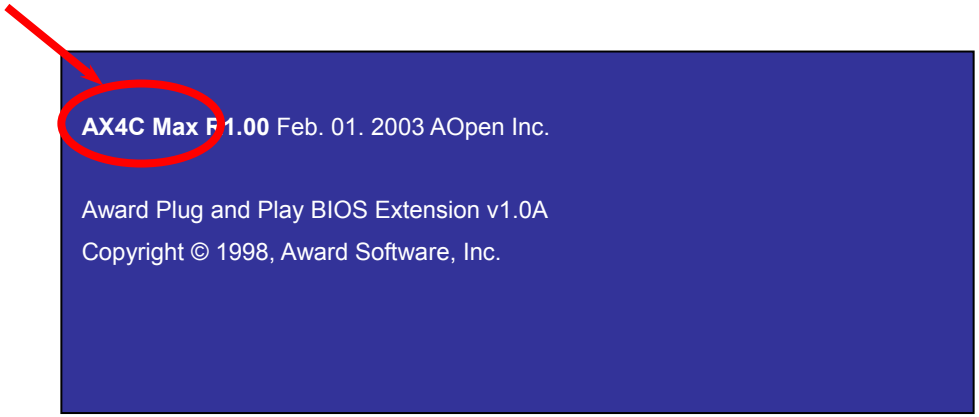
パーツナンバー及びシリアルナンバー

パーツナンバー及びシリアルナンバーがバーコードラベルに印刷されています。バーコードラベルは包装の外側、PCB のコンポーネント側にあります。以下は一例です。

P/N: 91.88110.201 がパーツナンバーで、S/N: 91949378KN73 がシリアルナンバーです。

モデルネーム及び BIOS バージョン

モデルネーム及び BIOS バージョンがシステム起動時の画面（POST 画面)の左上に表示されます。以下は一例です。



AX4C Maxがマザーボードのモデルネームで、R1.02がBIOSバージョンです。

テクニカルサポート

お客様各位へ
この度は、AOpen 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら、毎日世界中から E メール及び電話での問い合わせが無数であり、全ての方に遅れずにサービスをご提供いたすことは極めて困難でございます。弊社にご連絡になる前に、まず下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供していただけます。

皆様のご理解に深く感謝を申し上げます!

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域
AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ
AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Email:Support@AOpen.NL

中国
艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

ドイツ
AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2131-1243-710
Fax: 49-2131-1243-999

アメリカ
AOpen America Inc.
Tel: 1-408-232-1200
Fax: 1-408-232-1280

日本
AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ウェブサイト: www.aopen.com

電子メール ： 下記の連絡フォームをご利用になり、メールでご連絡ください。

英語	http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm
日本語	http://aopen.jp/tech
中国語	http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm
ドイツ語	http://www.aopencom.de/tech/default.htm
簡体字中国語	http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm

1 オンラインマニュアル：まずログインして言語を選択してください。「種類」ディレクトリから「マニュアル」を選び、マニュアルデータベースに入ります。また、AOpen Bonus CD ディスクにもマニュアル及び EIG が収録されています。
http://download.aopen.com.tw/downloads

2 テストレポート: 自作パソコン専用の互換性テストレポートを参考に、マザーボード、アドンカード及びデバイスを選択するようお勧めいたします。互換性の問題を回避することができます。
http://www.aopen.co.jp/tech/report/default.htm

3 FAQ：ユーザーが頻繁に遭遇する問題と FAQ (よく尋ねられた質問)をリストします。ログイン後、言語を選択してください。トラブルの解決法が発見するかもしれません。
http://club.aopen.com.tw/faq/

4 ソフトウエアのダウンロード：ログインして言語を選択した後、「種類」ディレクトリからアップデートされた最新 BIOS、ユーティリティ及びドライバを取得できます。通常、より新しいバージョンのドライバと BIOS は既にいままでのバグや互換性の問題を解決しました。
http://download.aopen.com.tw/downloads

5 eForum：AOpen eForum はユーザーに弊社製品をお互いに討論する場を提供します。お抱えになっている問題が既に eForum で討論されたり、あるいはこれから回答されることになります。ログイン後、「マルチ言語」から言語を自由に選択することができます。
http://club.aopen.com.tw/forum/

6 販売店及びリセラーへのご連絡：弊社は当社製品をリセラー及び SI を経由して販売しております。彼らはお客様のパソコン状況をよく知り、効率的にトラブルを解決することができる上に、重要な情報も提供します。

7 弊社へのご連絡: 弊社までご連絡になる前に、システムに関する詳細情報及びエラー状況を確認してください。パーツナンバー、シリアルナンバー及び BIOS バージョンなどの情報提供も非常に役に立ちます。